

町内一斉下水溝清掃

衛生部長 小熊由紀夫

恒例の姥ヶ山自治会衛生部主催の行事、町内一斉下水溝清掃は、六月六日の日曜日、好天の下で行う事が出来ました。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で部分的にしかできなかった下水溝清掃でした。

コロナ禍は今年度も続いてはいますが、少し汗ばむ陽気の中、マスクをしたり、距離に注意しての作業が町内一斉に行なわれ、大勢の方々の協力を頂き、良い自治会だと思いました。

近年では下水道の整備で汚泥は少なくなっていました。昨年出来なかった分、今回は、かなりの量がありました。下水溝清掃は、高齢者の多い班ではきつい作業ですが、若い人達の参加も見られ、良い傾向かと思えます。

ただ、気になっているのがバス通り脇の大型側溝で、かなりの汚泥が溜まり水の流れが悪くなっています。人力では難しいため、行政にお願いするなどの検討をしていきたいと思っています。

今回はコロナ禍も終わって地元住民の交流の場になればと思いますので、ご協力よろしくお願い致します。



赤ちゃん誕生お祝い会

自治会副会長 高橋ひろみ

この企画は3年前から始まりました。区役所の健康福祉課から連絡を頂き区の補助事業である「お祝い会」なるものを初めて知りました。

役所の担当者から説明やら助言やらをもらい、なんとか地域で生まれた赤ちゃんのお祝い会をやることに。

はたして何組、何人の親子が集まってくれるのか？ 往復はがきで参加を募ったら初回は十一組の親子、家族が集まってくれました。

当日は保健師さんのお話・身体測定・自己紹介・茶話会と進み皆さんそれなりに楽しんでもらえました。

昨年は「コロナ」で中止。今年は新しい自治会館でスペースもたつぷりあり、ゆつたりと出来たのですが茶話会は無し。記念写真をプレゼント！

同じエリアに居て、いずれ小・中学校で会うかもしれない。でもなかなか顔を合わせにくく、この会が知り合うひとつの機会になれば幸いです。

子供は地域みんなの「宝」大切に守りたいと考えます。



令和3年3月21日（日）開催

コロナ禍の地域活動

四丁目ブロック長 高橋 修

昨年度の自治会本体の活動は、コロナ禍のため、ほぼ会館建設で終わってしまつた。

コロナの実態が解らない中、国中がビビり、全ての組織が責任回避のため、感染防止を錦の御旗に掲げ、活動自粛となった。

四丁目はブロック制をひいてから、三つの事業を行ってきました。初夏の鉢植えの配布。秋、白根での果物狩りとBBQ、そして節分の豆まきと合わせた新年会の開催です。

まず花の配布は屋外で実施しているため、そのまま実施。例年百十戸ほどの申し込みのところ二割減の九十戸ほどでした。次のBBQは地域を越えて行う飲食が主体のため中止としました。節分の豆まきと新年会については迷いましたが回覧の申し込みで、新年会二十一名の申し込みがあったため実施することとしました。ただし感染防止のため豆まきは配布方式、新年会は市の補助を利用した折りの持ち帰り方式に変更しました。豆まきにはどれ程の参加者が来るか読めませんでした。前年半数の五十名程の親子が参加してくれました。無事終了し役員全員で安堵しました。

地域活動の殆どが自粛となる中、子供の学びの場や遊びの場を確保するのも地域の大人の役目かと再認識したところです。感染症対策と言う難しい世ではありますが、少しでも子供達に姥ヶ山に生まれ育つて良かったと思える活動と安心安全と夢を提供できたらと思います。

自治会員の皆様の協力、更にお願いします。



コロナ禍の生活が一年半となる。変化も好転もない時間だけが過ぎてゆく！……

相変わらず政府や自治体はやったふりの始末。赤字国債で補った補正予算や予備費で訳の解らない支出を繰り返して、COCOAや水際対策アプリ等機能が整わないものに湯水の如く費やす。そして誰も責任をとらない。もはや背任行為としか言いようがない。

昨年の安倍政権から続く菅政権、過去にサースやマーズが日本で蔓延しなかった慢心があつたのでは？

官邸や内閣府・厚生省は楽観論からの思いつきや、その場しのぎの政策が目につく。厚労省等には専門家がいないのだろうか？「医官なのかそれとも遺憾」政府から独立した日本版CDCの様な組織を立ち上げるか、この際、政府の取り巻きを一新し、苦言や真面な提言をしてくれる専門家や学者を多用すれば、コロナも速になり、屁み

たいな話になるかもしれない？

ついでに学術会議の六名も選任する位の腹を据えてみれば？

東京オリンピックについて、安心安全に開催出来る事にこしたことはないが、このオリンピックが誰の権限で行われ、誰のために、何のための祭典なのか解らなくなってきた。そして最終的な責任はどこの誰なのか？世界中の人が、オリンピックのあり方について議論する時が来たのかも知れない。

追伸、果たしてワクチン接種が最終ゴールに成り得るのか、疑問が解けない？……

(O.S.M)

編集後記

令和三年度最初の自治会報をお届けします。

本年度は役員改選年度ではありませんので、引き続き行事遂行をお願いします。

今年もまたコロナ禍により、あらゆる活動が、自粛、修正を余儀なくされ、ご不便、ご不満でんご盛りと察します。

今号には、会長より自治会総会の総括及びその他開催予定行事についてのガイドラインを語って頂きました。

更に今号に於いては、市立山潟小学校、桜が丘小学校、山潟中学校、三校の校長先生より特別に寄稿していただき、誠にありがとうございました。

小柳先生からは、基本行動の一つである挨拶を軸に、児童見守りの心を教えていただきました。

田村先生については、途轍もないポテンシャルを秘めた世代への橋渡しを、貝塚先生からは、人の心を大切に生徒育成について教えていただきました。

改めて、地域と学校が支えあう地域総かがかりの重要性を深く感じているところです。

その他、専門部長よりの行事報告、誠に有難うございました。

